

八代市の お金の使いみち

～平成26年度 予算～

企業会計	16億6,477万円	15億5,002万円	
水道事業会計	7億3,391万円	8億1,025万円	△9.4
病院事業会計	9億3,086万円	7億3,977万円	25.8
全ての予算	939億2,386万円	910億8,584万円	3.1

「市の予算」は、家庭でいうと、年間の家計を予想し、収入や出費の予定を立てるようなものです。「歳入」は収入、「歳出」は出費と言い換えることができます。

市の予算も、家計と同じように限度があるため、きちんとした計画や方針に基づいて運用しています。

939億2,386万円

問合せ 財政課 33-4106
zaisei@city.yatsushiro.lg.jp

市の予算は、市のホームページでもご覧いただけます。

本年度予算は、昨年度と比較すると、予算規模が23億円（4.5%）増の540億円規模となりました。

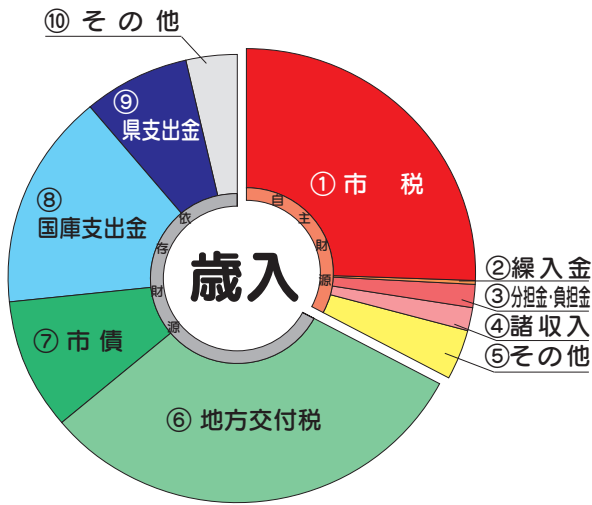
歳出は、社会保障対策に伴う民生費や、フードバレー構想の推進をはじめとした農林水産業費の予算が増えています。一方、歳入では、自主財源以外の依存財源が67.2%と昨年以上の割合で推移しており、依然厳しい状況が続いていると言えます。

そうした中、本市では28年度からの地方交付税の段階的削減に備えるため、計画的に事業の見直しや財政規模の縮小を図ることとしています。これは市政運営を行うっていく中で、できる限り借金に頼らず、「身の丈に合った」行財政運営に努めることで、将来への持続可能な安定的市政運営を目指すものです。

また、メリハリのある予算編成により、昨年度策定された八代市総合計画「後期基本計画」の推進を図るとともに、「やすらぎと活力にみちた魅力かがやく元氣都市“やっしろ”」を目指し、積極的な取り組みを進めていきます。

一般会計

歳入 総額 **540億 6,100万円**



依存財源
67.2%

363億 2,623万円

- ⑥ 地方交付税 (31.2%)
- ⑦ 市債 (9.6%)
- ⑧ 国庫支出金 (15.4%)
- ⑨ 県支出金 (7.4%)
- ⑩ その他 (3.6%)

地方消費税交付金 12億 6,500万円
地方譲与税 4億 9,580万円
自動車取得税交付金 4,200万円など

自主財源
32.8%

177億 3,477万円

- ① 市税 (25.6%)
- ② 繰入金 (0.3%)
- ③ 分担金・負担金 (1.8%)
- ④ 諸収入 (1.6%)
- ⑤ その他 (3.5%)

使用料・手数料 7億 9,065万円
寄附金 1,662万円
繰越金 10億円
財産収入 1億 624万円

一般会計の歳入と歳出

水道や市立病院など、事業で収益を上げて独自に運営するもの

企業会計

国民健康保険や下水道事業など、特定の目的のために事業を行うもの

特別会計

行政運営の基本的な経費

一般会計

市の予算は、大きく3種類の「会計」に分けることができます

八代市には、一般会計と11の特別会計、2つの企業会計があります。下表は、市の予算を会計別にしたものです。
このなかで、一番大きな割合を占める「一般会計」について、詳しく見てみましょう。



市の予算【会計別】

会計名	H26年度 予算額	H25年度 予算額	増減 (%)
一般会計	540億 6,100万円	517億 1,970万円	4.5
特別会計	381億 9,809万円	378億 1,612万円	1.0
国民健康保険	181億 9,481万円	182億 3,012万円	△ 0.2
後期高齢者医療	16億 6,350万円	16億 4,514万円	1.1
介護保険	135億 6,870万円	130億 1,702万円	4.2
公共下水道事業	37億 9,250万円	40億 2,500万円	△ 5.8
簡易水道事業	3億 6,852万円	3億 6,775万円	0.2
農業集落排水処理施設事業	1億 1,115万円	1億 678万円	4.1
浄化槽市町村整備推進事業	6,761万円	6,364万円	6.2
ケーブルテレビ事業	3億 5,088万円	2億 7,349万円	28.3
診療所	7,994万円	8,670万円	△ 7.8
久連子財産区	29万円	29万円	0.0
椎原財産区	19万円	19万円	0.0
企業会計	16億 6,477万円	15億 5,002万円	7.4
水道事業会計	7億 3,391万円	8億 1,025万円	△ 9.4
病院事業会計	9億 3,086万円	7億 3,977万円	25.8
全ての予算	939億 2,386万円	910億 8,584万円	3.1

歳入の種類	H26年度(万円)	H25年度(万円)	対前年度比(%)
① 市税	1,383,605	1,339,963	3.3
⑥ 地方交付税	1,685,000	1,725,200	△ 2.3
③ 分担金・負担金 ^{(*)1}	99,734	99,140	0.6
⑧ 国庫支出金 ^{(*)2}	834,901	730,769	14.2
⑨ 県支出金 ^{(*)3}	399,922	365,840	9.3
② 繰入金	13,494	10,474	28.8
④ 諸収入 ^{(*)4}	85,293	90,923	△ 6.2
⑦ 市債 ^{(*)5}	520,760	409,480	27.2
⑤⑩ その他	383,391	400,181	△ 4.2
合計	5,406,100	5,171,970	4.5

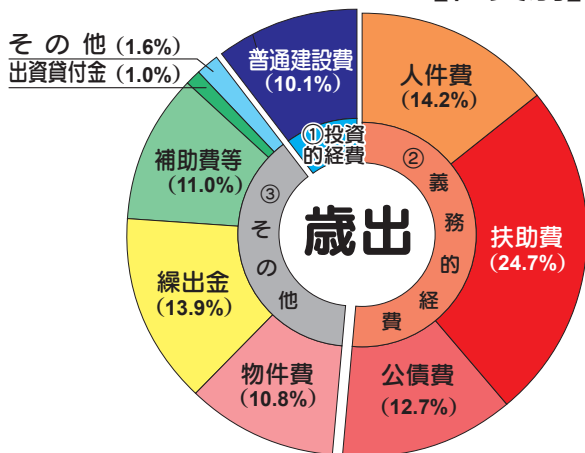
上の円グラフは、一般会計の当初予算の歳入(収入)を5ページには歳出(目的別・性質別)を示したものです。
歳入は、市税などによる「自主財源」と、国や県の支出金などからなる「依存財源」があります。
市の歳入では、依存財源が67・2%となっており、国や県に頼った財源構成となっていることが分かります。
中でも大きな割合を占める「地方交付税」は、税収が多い自治体と少ない自治体の財源を調整するなどの目的で、国から交付されます。
現在は、市町村合併の特例により、多く交付されていますが、今後、段階的に縮小される見通しのため、自主財源の確保や計画的な財政運営が重要になります。

一般会計

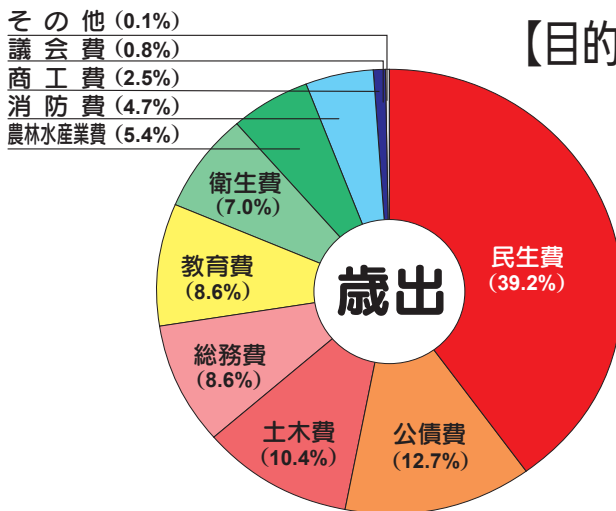
歳出 総額 **540億6,100** 万円

- ① 投資的経費 54億8,331万円 (10.1%)
- ② 義務的経費 278億8,638万円 (51.6%)
- ③ その他 206億9,131万円 (38.3%)

【性質別】



【目的別】



費目	H26年度(万円)	H25年度(万円)	対前年度比(%)
人件費(*10)	770,105	793,041	△2.9
扶助費(*11)	1,333,051	1,316,224	1.3
公債費	685,482	685,803	△0.0
物件費(*12)	580,594	602,261	△3.6
繰出金(*13)	753,220	738,460	2.0
補助費等(*14)	592,444	465,422	27.3
出資貸付金(*15)	55,620	56,844	△2.2
その他(*16)	87,253	60,103	45.2
普通建設事業費(*17)	548,331	453,812	20.8
合計	5,406,100	5,171,970	4.5

費目	H26年度(万円)	H25年度(万円)	対前年度比(%)
議会費	44,203	42,235	4.7
総務費(*6)	462,532	470,409	△1.7
民生費(*7)	2,117,756	1,986,754	6.6
衛生費(*8)	378,050	394,604	△4.2
農林水産業費	291,207	248,415	17.2
商工費	135,566	142,928	△5.2
土木費	563,317	547,940	2.8
消防費	256,266	202,617	26.5
教育費	466,714	445,468	4.8
公債費(*9)	685,505	685,804	△0.0
その他	4,984	4,796	3.9
合計	5,406,100	5,171,970	4.5

歳出（性質別）構成は、歳出を経費の性質別に分類したものです。会社に例えると、労務費や材料費の経費の費目ごとの分類とみることが出来ます。この表からは、義務的経費（支出することが制度的に定められている経費）の占める割合が大きく、また、その中でも扶助費（医療費や生活保護費など）が大きいことが分かります。この義務的経費の割合が大きくなるほど、自由に使えるお金が少なくなります。

歳出（支出）は、目的別と性質別の2つの側面から見る事が出来ます。歳出（目的別）構成は、歳出を行政目的別に分類したものです。会社に例えると、各事業部ごとの経費とみることが出来ます。この表からは、民生費（社会保障費）が最も大きく、市の予算の4割弱を占めていることが分かります。

用語解説

- *1 分担金・負担金：特定の事業経費に充てるため、その経費の全部または一部を徴収するもの
- *2 国庫支出金：国からの負担金や補助金・委託金
- *3 県支出金：県からの負担金や補助金・委託金
- *4 諸収入：収入の性質でどの科目にも含まれないもの
- *5 市債：事業などを行うために借り入れるお金
- *6 総務費：市役所の運営のための基本的な費用や地域振興に要する経費など
- *7 民生費：高齢者や障がい者への福祉対策や子育て支援などに使われる費用
- *8 衛生費：ごみやし尿を処理したり、市民のがん検診や各種の予防接種などに使われる費用
- *9 公債費：公共施設整備などのために借り入れたお金を返済する費用など
- *10 人件費：市議会議員や市政協力員の報酬、職員との給与など
- *11 扶助費：障がい者、児童などに対する医療費援助や諸手当、生活保護費など
- *12 物件費：事務用品、光熱水費などの需用費や委託料、旅費など
- *13 繰出金：一般会計から特別会計および企業会計に支出される経費
- *14 補助費等：八代広域行政事務組合負担金、各種団体運営補助金など
- *15 出資貸付金：市立病院や水道局など、公営事業会計に対する出資金
- *16 その他：維持補修費、積立金など
- *17 普通建設事業費：学校、道路、公園など公共施設の建設費

予算の主な使いみち 主要事業

市長八策 ～市長の8つの施策～

1 農林水産業の振興

フードバレー構想の推進

6次産業化研修会や商品の企画開発コンサルティングによる商品力強化魅力発信、販路拡大支援など

- ・工業用地適地選定調査業務委託 616万7千円
- ・商品力強化販売支援事業 680万7千円

地場産業の活性化と農業所得の倍増

- ・い業機械再生支援事業 2,500万円
- ・栽培漁業振興のための稚魚、稚貝、稚工ビの放流拡大 1,000万円

営農支援室の設置

新規就農者の相談・支援業務や農業全般の相談・支援業務を行う部署を設置

- ・営農支援員2人の配置と活動経費

571万7千円



2 地域振興

八代港の港湾機能の整備充実

- ・八代港湾整備に係る県営事業負担金 2億8,800万円
- ・八代市コンテナ利用助成金 1億727万円
- ・八代港ポートセールス活動経費 1,154万7千円

災害や震災に強いインフラ整備

- ・消防アナログ無線のデジタル化に係る広域行政負担金 5億6,975万6千円
- ・同報系防災通信システムや屋外拡声器増設、防災行政無線整備費 5,585万5千円

3 環境対策

新環境センターの早期完成

- ・環境センター整備、運營業務に係る債務負担行為 (H26～49年度) 195億4,285万9千円

太陽光発電などの再生可能エネルギーの普及拡大

- ・千丁支所庁舎への太陽光発電と蓄電設備の設置 3,495万6千円

4 教育・子育て支援

小中学生読書運動事業

- ・1年間で小学生100冊、中学生50冊を目標に、市内全域で読書活動に取り組む 265万円

子育て支援

- ・イオン八代ショッピングセンターに、新たに「こどもプラザ」を増設し、子育て支援の充実を図る 1,679万3千円

5 商工業対策

商店街や中小企業に対する支援

- ・新技術、新製品研究開発支援事業補助金 500万円

6 医療福祉対策

市民の健康づくり

- ・各種予防接種と各種ガン健診 4億3,628万4千円



7 若者定住・雇用・男女共同参画の推進

食品関連産業の誘致、若者雇用確保

- ・企業振興促進条例補助金 1,897万4千円



8 行財政改革

住民自治の推進

- ・地域協議会活動交付金など 7,743万4千円
- ・住民自治関係施設整備 644万3千円

適正な財政計画に基づく施策の実施

- ・市庁舎建設基金の創設、積立て 3億円